

※第三期中期目標期間：令和7年4月1日～令和13年3月31日（6年間）

1

第1 中期目標について

中期目標は、地方独立行政法人法第25条及び第78条の規定により、目標期間の6年間に兵庫県公立大学法人が達成すべき業務運営に関する目標で、知事が議会の議決を経て定め、法人に指示するものである。

現行の第二期中期目標期間が令和元年度から令和6年度までの6年間であるため、令和7年度から令和12年度までの第三期中期目標を策定する。

第2 法人設立の目的

豊かで多様な自然と社会を有し、世界に開かれた日本の近代化を先導した地域である兵庫の総合的な知の拠点として、人文科学、社会科学及び自然科学の発展とこれらの融合を目指す教育と研究を推進することにより、豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成し、あわせて学術的な新知見を国内外に発信し、もって地域の活性化と我が国の発展に寄与することを目的とする。

第3 第三期中期目標策定の基本的な考え方

社会情勢の変化や時代の要請を踏まえるとともに、将来構想からのバックキャストや法人評価委員会の意見を反映させ、**公立大学としてのミッション**や**他大学にない特色を踏まえた取組**を推進し、**社会から選ばれ、評価される質の高い業務運営**を法人に求める。

第三期中期目標前文要約

- ◆旧3大学の伝統と総合大学の強みを持つ兵庫県立大学は、県下全域に展開するキャンパスで、個性・特色豊かな大学づくりに取り組み、これまで多くの優れた人材を輩出し、教育研究の成果を社会に還元してきた。
- ◆令和3年に開学した芸術文化観光専門職大学は、芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する実践力のある専門職業人の育成を目指し、地域に根ざした教育研究活動を展開している。
- ◆我が国においては、人口減少や東京一極集中に歯止めがかからず、地方を取り巻く環境は厳しさを増しており、大規模災害の発生、新型コロナウイルスの流行、緊迫の度合いを増す世界情勢など、国際社会の不確実性も高まっている。
- ◆こうした中、両大学が果たすべき役割はますます高まっており、理事長、学長のリーダーシップの下、1法人2大学の特性を生かしながら、不断の改革を行い、ステークホルダーからの信頼と期待に応え、選ばれる大学であり続けなければならない。
- ◆第一期、第二期中期目標における成果を礎に、両大学が社会経済情勢の変化に的確に対応し、世界や地域が直面する課題の解決に貢献する先導的・独創的な教育、研究に取り組み、社会から選ばれ、評価される世界水準の大学となるよう、第三期中期目標を定める。

豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成し、あわせて学術的な新知見を国内外に発信し、もって地域の発展と我が国の繁栄、ひいては世界、人類の幸せに貢献することを目標とする

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 次代を牽引する高度な専門性と深い教養、グローバル・リテラシーを有する人材を育成する大学
- ② 次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進する大学
- ③ 地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学

区分	第三期中期目標	主な取組	
教育	次代を牽引する高度な専門性と深い教養、グローバル・リテラシーを有する人材を育成する大学	ア グローバル社会で活躍できる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・全学的なグローバル教育の推進 ・海外留学、海外からの留学生や研究者の受入促進
		イ 地域を支える専門人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色を生かした教育の推進 ・地域ニーズに応えるリカレント教育・リスキリングプログラムの推進
		ウ 社会のニーズを踏まえた高度な専門性を有する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・DX教育の推進 ・各専門領域における大学院教育の充実
		エ 総合大学の強みを生かした幅広い知識を有する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・文理融合、学部横断型の学際的教育の推進
		オ 人材育成に向けた教育システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質保証 ・多様な学生の確保 ・学生支援の充実 ・中高大連携の強化
研究	次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進する大学	ア 高度な研究基盤を活用した先端研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある最先端・異分野融合研究の推進 ・研究成果の世界発信 ・持続的に新たな価値を創出し発展し続けるための研究環境の構築
		イ 兵庫の先進的な取組を活用した実践的な研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・減災復興や災害看護など、兵庫が先導してきた取組を国内外に発信 ・レジリエントな社会の実現を目指し、県民に還元すべき実践的な研究の推進
		ウ 社会課題の解決に向けたイノベーションの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の知的資源を活かした社会課題への総合的アプローチの実施 ・得られた知見の社会実装の推進
社会貢献	地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学	ア 未来社会を先導する産学官連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のシンクタンクとして新たな価値を生み出す仕組の構築 ・社会課題解決に資する共同研究の推進 ・スタートアップ企業の育成強化
		イ 兵庫の経験を生かした災害に強い地域づくりへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災に関する知見を生かした研究成果の社会実装（南海トラフ巨大地震への優先的取組）
		ウ 共創による持続可能な地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題解決を担うシンクタンク機能の強化
		エ 次世代の兵庫を担う人材の育成と地域の期待に応える取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業への学生理解を深める取組の強化（次世代の兵庫を担う人材の県内就職促進）

芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人を育成し、あわせて地域に根ざした教育研究活動を推進し、もって地域及び国際社会に貢献することを目標とする

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学
- ② 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学
- ③ 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

区分	第三期中期目標		主な取組
教育	芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学	ア 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして新たな価値を創造できる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇的手法を用いた対話的コミュニケーション能力の養成 ・芸術文化と観光の双方の視点を活かして事業を推進するための芸術文化マネジメント能力、観光マネジメント能力、価値創造能力の養成
		イ 地域活性化に貢献する専門職業人の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した多様な教育プログラムの展開 ・但馬地域をフィールドに持続可能な観光の振興となる新たな価値の創造
		ウ 世界に通じる専門職業人の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的に通用する芸術文化及び観光に関する知識・技能、語学力の修得 ・海外実習の更なる充実、留学生の受入促進
		エ 人材育成に向けた教育システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・入試改革、広報活動の強化による多様な学生の確保 ・専門職大学の特色を活かした独自性のある教育の推進 ・学生支援の充実
研究	芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学	ア 専門職大学の強みを生かし、地域活性化に資する研究活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズと大学シーズのマッチングによるイノベーションの創出 ・地域リサーチ&イノベーションセンター(RIC)による地域との協働プロジェクトの展開
		イ 研究成果の社会への還元	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究・受託研究等の推進、研究成果の社会への還元
社会貢献	地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学	ア 大学が有する資源の地域社会における活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リサーチ&イノベーションセンター(RIC)のシンクタンク、コンサルティング、インキュベーション機能の強化 ・但馬全体の教育モデルの構築と国内外への発信 ・地元自治体等との連携強化
		イ 大学の長を生かした地域貢献の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高大連携の推進 ・リカレント教育の推進、公開講座科目の多様化
		ウ 芸術文化及び観光に係る国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した異文化交流の推進 ・海外大学との連携充実

区分	第三期中期目標	主な取組
戦略的経営 の推進	(1) 社会ニーズの変化に対応できる体制の構築	・ 職員のプロパー化の検討、優秀な人材の採用 ・ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進
	(2) 魅力発信と知名度向上	・ 大学のブランド力強化
	(3) 教育研究基盤への計画的な新規投資	・ 各キャンパスにおける計画的な施設の建替整備
	(4) 両大学の連携	・ 両大学の連携推進会議の実施、経営資源の相互利用
効率的経営 の推進	(1) 経営資源の重点配分・相互利用	・ 経営資源の重点的投資 ・ DXの推進による業務の効率化、働き方改革の推進
	(2) 安全・快適な環境の計画的整備	・ 計画的な施設の長寿命化対策（兵庫県立大学） ・ 適切な施設管理の推進（芸術文化観光専門職大学）
自律的経営 の推進	(1) 財務運営の改善	・ 外部資金の獲得と財政基盤の強化に向けた取組の強化
	(2) 自己点検・評価及び情報の提供	・ 外部評価を踏まえた組織や業務執行についての改善・改革 ・ 法人情報等の積極的公開
	(3) コンプライアンスの推進 ア 法令の遵守 イ 安全管理体制の確保	・ コンプライアンス事案の発生防止 ・ 情報セキュリティ体制の充実、危機管理体制の強化

教育研究上の基本組織

1 兵庫県立大学

(1) 学部

国際商経学部、社会情報科学部、工学部、理学部、環境人間学部、看護学部

(2) 研究科

社会科学研究科、工学研究科、理学研究科、環境人間学研究科、看護学研究科、情報科学研究科、緑環境景観マネジメント研究科、地域資源マネジメント研究科、減災復興政策研究科

(3) 附置研究所

政策科学研究所、高度産業科学技術研究所、自然・環境科学研究所、地域ケア開発研究所、先端医療工学研究所

2 芸術文化観光専門職大学

(1) 学部

芸術文化・観光学部

今後のスケジュール

第三期中期目標策定【県】

第三期中期計画策定【法人】

令和6年
12月

令和7年
2月 3月

県議会
へ提案

県議会
の議決

法人へ
指示

案作成
(法人)

認可申請
(法人)

認可
(県)